

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 03-063990

(43)Date of publication of application : 19.03.1991

(51)Int.Cl.

G11B 27/28

G11B 15/02

H04N 5/44

(21)Application number : 01-200535

(71)Applicant : MITSUBISHI ELECTRIC CORP

(22)Date of filing : 01.08.1989

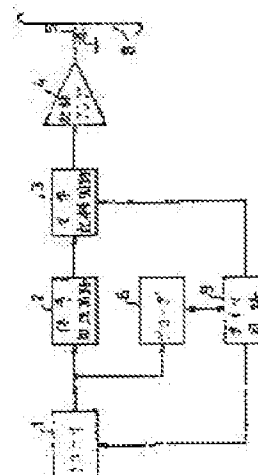
(72)Inventor : NAKA MASAFUMI

(54) DATE RECORDER

(57)Abstract:

PURPOSE: To easily judge scheduled time for broadcasting a recorded program from date memory data by defining the data, to which a date is recorded to be superimposed to a video signal, as a target value.

CONSTITUTION: By the exchange of the data between a decoder 6 and timer circuit 9, the real value of the broadcasting program is compared with the target value, which is set by a user in advance, and when these values are coincident, a VTR starts recording. At such a time, the timer circuit 9 outputs the signal corresponding to the data as the target value and the signal is inputted to a character recording circuit 3. In such a way, the date data to be sent from the timer circuit 9 are superimposed to the video signal to be outputted from a signal processing circuit 2 in the character recording circuit 3 and afterwards, the video signal is recorded through a recording amplifier 4 to a tape 8 by a video head 5 and displayed. Thus, the target value such as the scheduled time for broadcasting the program can be easily judged from the data to which the date is recorded.



⑫ 公開特許公報(A) 平3-63990

⑤Int.Cl.⁵G 11 B 27/28
15/02
H 04 N 5/44

識別記号

3 2 8 B
S
D

庁内整理番号

8726-5D
8022-5D
6957-5C

⑬公開 平成3年(1991)3月19日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑭発明の名称 日付記録装置

⑰特 願 平1-200535

⑱出 願 平1(1989)8月1日

⑲発 明 者 仲 雅 文 京都府長岡京市馬場岡所1番地 三菱電機株式会社京都製作所内

⑳出 願 人 三菱電機株式会社 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

㉑代 理 人 弁理士 大岩 増雄 外2名

明 細 書

1. 発明の名称

日付記録装置

2. 特許請求の範囲

(1) ビデオ信号からビデオプログラムシステム信号を取り出すデコードと、放送番組を予約する機能を有するタイマ回路と、このタイマ回路からの出力データによりビデオ信号に日付文字信号を重複して記録する文字記録回路とを備えた日付記録装置において、上記タイマ回路を、あらかじめ設定された目標値と放送されている実際値とを比較して両値が一致したときに上記目標値のデータを上記文字記録回路に出力するように構成したことを特徴とする日付記録装置。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

この発明はビデオテープレコーダ(以下、VTRと称す)を使用してテレビジョン放送などの放送番組を予約録画する際に、そのビデオ信号に重複させて録画される番組の日付文字を記録す

るように構成されている日付記録装置に関するものである。

〔従来の技術〕

放送番組の予約録画に際しては、一般にビデオプログラムシステム(Video Program System : 以下、VPSと称す)を利用する。このVPSの概要はつぎの通りである。

すなわち、各放送番組コメントを新聞やテレビテキストなどの印刷媒体を介して告知し、その印刷媒体を見て録画したい番組がある場合、視聴者がその番組に関するデータを目標値としてVTRに設定し記憶させる。この設定された目標値とビデオ信号のデータ列16で示されるVPSコードの実際値とを比較して、その両値が一致している限り、その番組の録画をおこなう。

このようなVPSによる予約録画によれば、放送番組の時間がずれた場合であつても、目標値としてVTRに設定した放送番組を誤りなく録画することができる。

上記のようにVPSにより録画される放送番組

のビデオ信号に重複して日付文字を記録する日付記録装置において、従来のものは、実際に目標値として設定されたVPS信号が放送され録画を開始した現時刻をビデオ信号に重複して記録するように構成されている。

第4図は従来のVPSによる日付記録装置の構成を示すブロック図である。同図において、(1)はチューナ、(2)は信号処理回路、(8)はデコーダで、上記チューナ(1)により受信したビデオ信号が入力されデータ列16のVPSデータをデコードする。(7)はタイマ回路で、上記チューナ(1)の受信周波数を制御し、目標値として設定された番組のチャンネルのスキヤンをおこなうとともに、上記デコーダ(8)から入力されるVPSデータの値、つまり実際値と上記目標値とを比較し両値が一致したとき、その放送番組を録画する。

(3)は文字記録回路で、この文字記録回路(3)は上記タイマ回路(7)から出力される制御信号によつて記録設定される日付文字の指定を受け、ビ

レ、その両値が一致すれば、VTRはこの番組を記録する。

一方、信号処理回路(2)に入力されたビデオ信号は文字記録回路(3)に至る。ここで記録設定される文字は上記タイマ回路(7)からの制御信号により指定される。すなわち、上述の'89 11月26日(SUN)10:30に相当するデータが送られ、その日付文字がビデオ信号に重複される。このようにして、日付文字が重複されたビデオ信号は記録アンプ(4)に入力されて増幅されたのち、ビデオヘッド(5)を介してテープ(8)上に記録され、第5図に示すように、その日付文字が表示される。

〔発明が解決しようとする課題〕

従来の日付記録装置は以上のように構成されているので、ビデオ信号と重複して記録される日付が現在時刻であるため、番組が予定の時間からずれて放送された場合、利用者側において、記録された番組がどの目標値の番組であるかを、日付記録されたデータからでは正確に判断することが困

難であつた。(4)は記録アンプで、上記文字記録回路(3)から出力される日付文字を重複したビデオ信号を増幅しビデオヘッド(5)を介してビデオテープ(8)上に録画する。

つぎに、上記構成の動作について説明する。

なお、以下の説明においては、設定された目標値、例えば、'89 11月26日(SUN)10:00~11:00、チャンネル3chの番組が10:30より放送された場合について述べる。

チューナ(1)により受信されたビデオ信号は信号処理回路(2)およびデコーダ(8)にそれぞれ入力される。このとき、チューナ(1)の受信周波数はタイマ回路(7)からのコントロール信号により制御され、目標値として設定された番組のチャンネルのスキヤンがおこなわれる。

ついで、上記デコーダ(8)に入力されたビデオ信号のデータ列16のVPSデータがデコードされて、上記タイマ回路(7)に入力される。この値、つまり実際値と上記の設定目標値とが比較さ

れる。

この発明は上記のような問題点を解消するためになされたもので、日付記録されたデータから、その番組の放送予定時間などの目標値を容易に判断することができる日付記録装置を提供することを目的とする。

〔課題を解決するための手段〕

この発明に係る日付記録装置は、あらかじめ設定された目標値と放送されている実際値とを比較して両値が一致したとき、上記目標値のデータを文字記録回路に出力するように構成したことを特徴とする。

〔作用〕

この発明によれば、利用者側において、あらかじめ設定された目標値を日付記録データとして文字記録回路に出力し、ビデオ信号に重複して記録するので、記録された日付記録データの表示により、その番組の放送予定時間などの目標値を知ることができる。

〔発明の実施例〕

以下、この発明の一実施例を図面にもとづいて説明する。

第1図はこの発明の一実施例による日付記録装置の構成を示すブロック図である。同図において、第4図で示す従来例と相違する点はタイマ回路(8)の機能であり、その他の構成は第4図と同一であるため、同一の符号を付して、それらの説明を省略する。

第1図におけるタイマ回路(9)は、デコーダ(6)から入力されるビデオ信号のデータ列16のVPSデータの値、つまり、放送されている実際値とあらかじめ設定された目標値とを比較し、その両値が一致したとき、その目標値のデータを文字記録回路(3)に入力する機能を有する。

つぎに、上記構成の動作について説明する。

第2図はVTRの利用者があらかじめ設定した目標値と現時刻の表示例であり、現時刻が1989年11月26日(日曜日)10時30分、目標値がチャンネル3ch、11月26日10:00およびチャンネル5ch、11月26

5ch、11月26日12:00の場合、文字記録回路(3)に送られるデータは、5ch'89年11月26日(SUN)12:00となる。

このように、タイマ回路(9)から送られてくる日付データが文字記録回路(3)において信号処理回路(2)から出力されるビデオ信号に重複されたのち、そのビデオ信号は記録アンプ(4)を経てビデオヘッド(5)によりテープ(8)に記録され、第3図に示すように表示される。

[発明の効果]

以上のように、この発明によれば、ビデオ信号に重複して日付記録されるデータを利用者が設定した目標値としたので、その日付記録データから記録された番組の放送予定時間などを容易に判断することができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図はこの発明の一実施例による日付記録装置の構成を示すブロック図、第2図は利用者が設定する目標値と現時刻の一表示例を示す図、第3図は日付記録の一表示例を示す図、第4図は従来

日 12:00の2つを設定している状態を示す。

チューナ(1)により受信されたビデオ信号が信号処理回路(2)およびデコーダ(6)にそれぞれ入力されて、所定の信号処理およびVSPデータのデコードがなされることは従来例とまったく同様であるため、詳しい説明は省略する。

上記デコーダ(6)とタイマ回路(9)との間のデータ交換により、放送されている番組の実際値と利用者があらかじめ設定した目標値との比較がおこなわれ、これらの値が一致したとき、VTRは記録を開始する。このとき、タイマ回路(9)は目標値のデータに相当する信号を出力し、これを文字記録回路(3)に入力する。例えば、1989年11月26日(日曜日)10:30に利用者が設定した目標値、3ch、11月26日10:00と実際値とが一致した場合、文字記録回路(3)に送られるデータは、3ch'89年11月26日(SUN)10:00に相当するデータであり、また、利用者の設定した目標値が

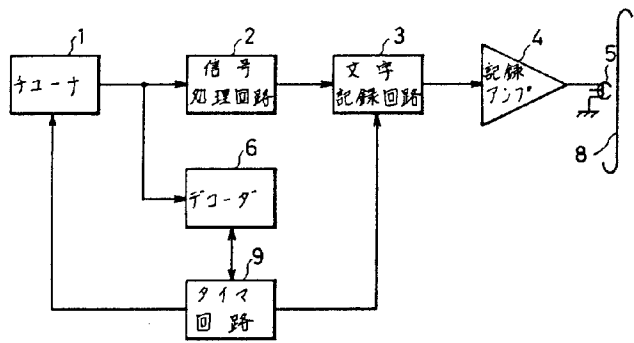
の日付記録装置の構成を示すブロック図、第5図は従来の日付記録の一表示例を示す図である。

(1) …チューナ、(2) …信号処理回路、(3) …文字記録回路、(6) …デコーダ、(9) …タイマ回路。

なお、図中の同一符号は同一または相当部分を示す。

代理人 大 岩 増 雄

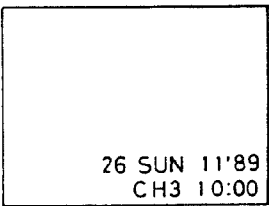
第 1 図



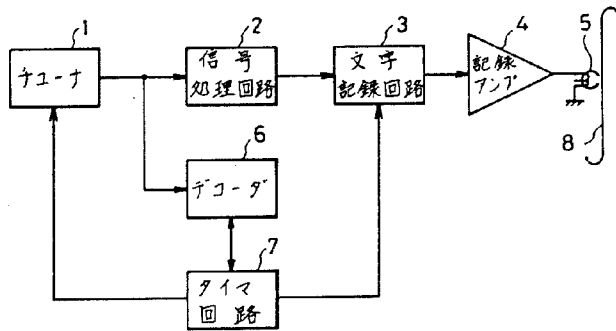
第 2 図

26 SUN 10:30 11/1989				
CH	DAY	ON	OFF	
3	26	10:00	11:00	
5	26	12:00	13:00	

第 3 図



第 4 図



第 5 図

